

事業イメージ：建設・インフラ領域の人材不足を改善・解消する技術・サービス・ソリューション

募集内容：構築物等のインフラの維持・メンテナンス負担を削減し得る補修技術・修繕工法や資材

1. パートナー募集の背景

- インフラ新築に掛かる建設費高騰、老朽化インフラの事故多発等を背景に、補修・予防保全への投資が拡大見込
- 建設・インフラ領域は、他の領域と比べて著しい人材不足に陥りつつある（Daigasグループも例外ではない）
- インフラの長寿命化を後押しする、従来よりもコスト・人材確保等の負担が小さい修繕工法や建設資材の需要が高まり、新規ビジネスとして可能性があると考えられる

2. 募集要件・求めるソリューション

- 既存技術と比べてコスト・耐久性・施工容易性等の優位性がある予防保全に有効な新たな工法・技術や資材

【図表1】求める修繕工法・建設資材のポイント

要件	従来技術等との比較のポイント
コスト競争力	➤ 資材価格だけでなくライフサイクルコストでの比較（従来工法・資材や建替と比較した総コスト）
施工の容易性	➤ 施工員に求められる資格、スキル・熟練度、人工 ➤ 施工時間、補修困難箇所に対する施工方法
耐久性	➤ 補修頻度の長期化（総人員数削減）

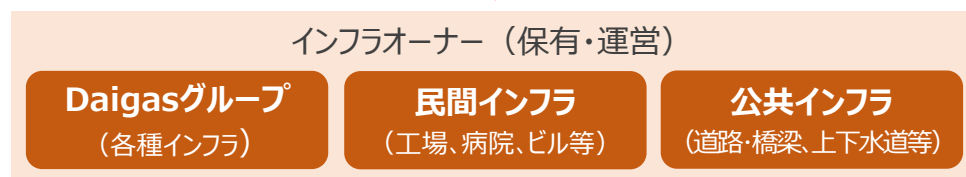
3. 実現イメージ

- 老朽化したインフラに有効な補修技術等を有するパートナー企業と連携した新たなインフラメンテナンスビジネスで、拡大が見込まれる建築補修市場（2024年度：約15兆円）における予防保全領域での市場開拓を目指す

【図表2】目指すビジネスモデル案



新たな工法・技術、資材による競争力のある補修・予防保全提案



■ パートナー募集の背景

- 建設費高騰による新築から延命・長寿命化へのインフラオーナーの志向の変化、老朽化による事故多発などを背景に、補修・予防保全への需要が拡大しています
- 一方、建設・インフラ領域は、他の領域と比べて著しい人材不足に陥りつつある中、従来の工法等ではコスト・人材確保・耐久性等に課題があり、円滑な補修が実現しないケースが少なくありません
- Daigasグループにおいても、今後のさらなる人材不足等に対応し得るインフラの修繕方法を模索しています
- インフラの長寿命化を後押しする、従来よりもコスト・人材確保等の負担が小さい修繕工法や建設資材の需要が高まり、新規ビジネスとして可能性があると考えられます

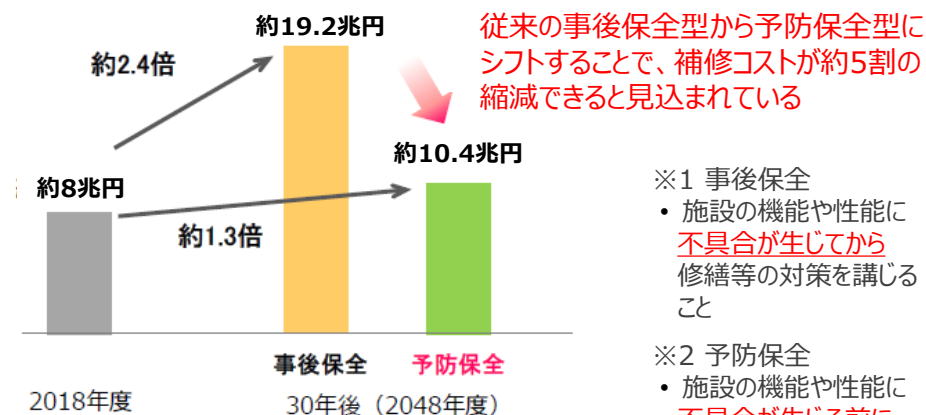
■ 募集要件・求めるソリューション

- インフラメンテナンスビジネスの主な提供価値は、①補修工法・技術や資材、②施工体制、③耐久性などがあると考えられます
- ①については、既存の技術等と比べて、コスト・耐久性・施工容易性等の優位性がある予防保全に有効な新たな工法・技術や資材を求めています
- ②③はインフラのライフサイクルで考えた補修に必要な人員やコストの削減を実現したいと考えています

■ 目指す姿

- 2024年度の建設投資額73兆円に対して、建築補修は15兆円（前年比+3.2%）（うち民間は12.4兆円（同3.1%））と建設投資全体の約2割を占めます
- 今後、老朽化した構築物が急増する中、従来型の事後保全（※1）では、維持管理・更新費用が2050年頃には約19兆円強に増加するとの推計があります
- インフラの補修コストを大幅に抑制する予防保全（※2）の需要が高まる中、老朽化したインフラに有効な補修技術等を有するパートナー企業と連携した施工も含むインフラメンテナンスビジネスを立ち上げたいと考えています

【図表1】インフラの将来の維持管理・更新費用の推計



※1 事後保全
・施設の機能や性能に不具合が生じてから修繕等の対策を講じること

※2 予防保全
・施設の機能や性能に不具合が生じる前に修繕等の対策を講じること

（出所）国土交通省資料から当部推計